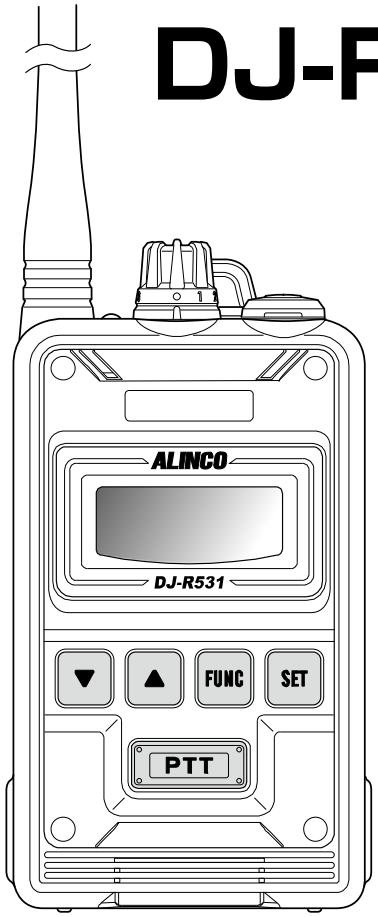
ALINCO

1.9GHz帯 DECT方式 9者間同時通話システム
総務省技術基準適合品
Bluetooth Module XE1126 内蔵

DJ-R531P(親機、シルバー)
DJ-R531 (子機、ブラック)
詳細取扱説明書



注意 本機を正しくお使いいただくためには別売の電源類 (バッテリーパックまたは乾電池ケース）やオプション類（ Bluetooth 対応または有線式イヤホン・イヤホンマイク・ヘッドセット） が必要です。詳しくは本書の「オプション一覧」をお読みください。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は免許、資格が不要の同時通話機です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。
本機の性能を十分に発揮させるために、付属取扱説明書と合わせて最後までお読みいただくようお願いいたします。

アルインコ株式会社

本書をお読みになる前に

本書は同梱の簡易取扱説明書、注意文に書ききれない内容（セットモードの機能の説明等）を記載しています。簡易取扱説明書、注意文の内容を一部省略していますので、簡易取扱説明書、注意文とあわせてお読みください。

機能と特長

■ 免許不要の 1.9GHz DECT 方式の同時通話機です。

■ 1.9GHz DECT 方式を採用したことで作業連絡用無線に必要な音声ミキサー無しで 9 名までの同時通話と高音質ノイズキャンセラーによるクリアな音質を実現しました。

■ PTT ホールド、イヤホン断線検知、コールバック(自声モニター)など定番の機能をもれなく搭載しました。

目次

本書をお読みになる前に 2
機能と特長 2
1. 各部の名称とはたらき 4
2. 基本操作 6
3. 同時通話 7
4. **Bluetooth** 機能 8
5. 減電池お知らせ 9
6. イヤホン断線検知機能 9
7. リセット（初期化） 9
8. セットモード 10
9. 故障とお考えになる前に 14
10. オプション一覧 15
11. 生産終了品に対する保守期限 15
12. 定格 15
13. メンテナンス 15

1．各部の名称とはたらき

前面部 ※オプション類を接続すると本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。
設定でこの動作を変えることもできます。

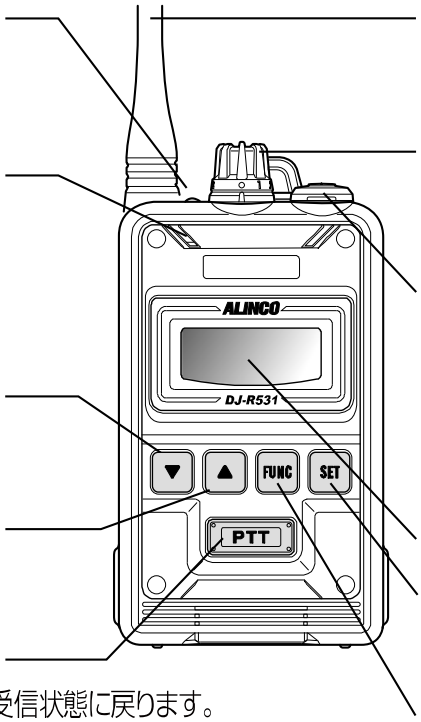
LED
光り方と状態については後述の「LED表示について」をご確認ください。

マイク
送信するときに話します。
※ラベルなどでふさがないでください。声を拾わなくなります。

▼(ダウン)キー
降順にセットモードの設定値を変更するときに押します。

▲(アップ)キー
昇順にセットモードの設定値を変更するときに押します。

PTT(送信)キー
押すと送信します。再度押すと受信状態に戻ります。
設定を変えると押している間だけ送信できます。



アンテナ
アンテナは外れません。柔らかい素材なので多少曲がります。

電源/音量ツマミ
※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

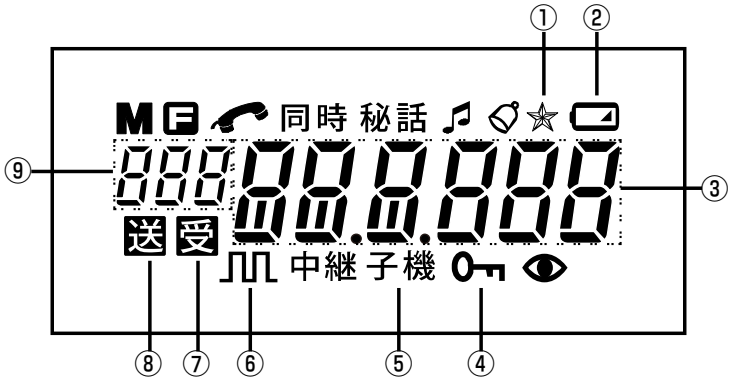
有線式オプション端子
別売有線式オプションを接続することができます。
※オプションのプラグを挿入したら時計回りに止まるまで数回ねじ込んでください。

ディスプレイ

SETキー
セットモードに入ることができます。

FUNCキー
長押しでキーロック設定/解除ができます。

ディスプレイ



①	ノイズキャンセラー設定時に点灯します
②	電源電圧が低下（減電池）すると点灯、点滅します
③	セットモード項目を表示します
④	キーロック中に点灯します
⑤	子機（DJ-R531）の場合、点灯します
⑥	Bluetooth やペアリング時に点灯、点滅します
⑦	受信時に点灯します ※親機（DJ-R531P）は常時点灯します
⑧	送信中に点灯します
⑨	各セットモードの設定値を表示します

※リセットの全点灯時に一部、通常使用では表示されないアイコンが表示されます。

■ LED 表示について

親機（DJ-R531P）

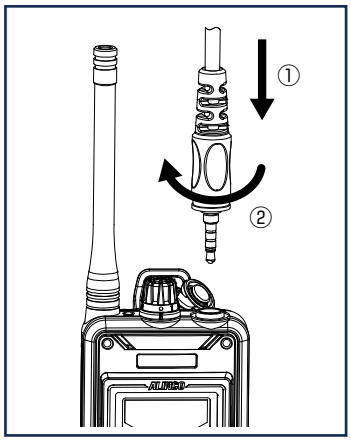
LED表示	状態
緑色点灯	受信状態、待受状態
黄色点灯	送受信状態
青色点滅	登録準備中
緑黄交互点灯	登録中
赤黄交互点灯	オールリセット中
赤緑交互点灯	イヤホン断線、ペアリングモード

子機（DJ-R531）

LED表示	状態
青色点滅	通話未接続状態
青色点灯	通話接続前状態
緑色点灯	受信状態、待受状態
黄色点灯	送受信状態
緑黄交互点灯	登録中
赤黄交互点灯	オールリセット中
赤緑交互点灯	イヤホン断線、ペアリングモード

2. 基本操作

2-1. ご使用になる前に



● イヤホンマイクの接続

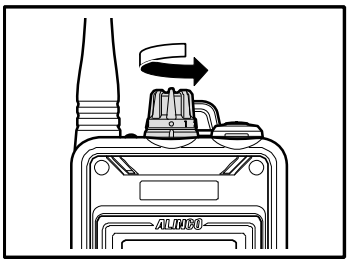
電源を入れる前に弊社製純正オプションのイヤホンマイクを①プラグ穴に奥までしっかり挿入した後、②時計回りに止まるまで回して接続してください。

正しく接続できていなければ、「イヤホン断線検知機能」（P.9）が動作したり、送信状態になったりする場合があります。

2-2. キー操作

「キーを押す」とはしっかり押した後、すぐに放すことを指します。
「キーを長押し」とは約 2 秒間押し続けることを指します。

2-3. 電源を入れる / 音量を調整する



電源/音量ツマミを時計方向に回すと電源が入り、ディスプレイに「dJR531」と表示されます。さらに回すと音量が上がります。
初めての場合はツマミの目盛を３程度にしておいて通話開始時に調整します。
電源を切る場合は、ツマミを目盛（●）まで反時計方向に回すと表示が消えます。

注意
- ●有線式オプションまたは、Bluetoothアクセサリーを接続した状態で使用することで音声を聞くことができます。
- ●イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがありますので、小さい音から徐々にあげて調整してください。

3. 同時通話

1 台の親機(DJ-R531P)と最多 8 台までの子機(DJ-R531)間で同時通話ができます。

3-1. 子機を親機に登録する

通話を始める前に親機-子機間の登録を行ってください。登録を行わないと通話できません。1 台の親機に 8 台までの子機が登録できます。

手順

① 親機、子機ともに待ち受け画面で「SET」キーを押し、セットモードに入ります。

② 親機、子機ともにセットモード1の「REGiSt」が「on」になっているのを確認し、「PTT」キーを長押しします。

③ 親機、子機ともに「REG on」と表示され、LEDが緑黄交互点灯します。
子機のディスプレイに「dJR531」と表示され、LEDが青色点灯すると子機の登録完了です。子機のディスプレイに「 🔑 」が点灯し自動的にキーロックがかかります。子機の登録完了後、親機と子機の電源を切ってください。再度電源を入れると、親機のディスプレイに「 🔑 」が点灯し自動的にキーロックがかかります。
登録に失敗すると、ディスプレイに「REG Err」と表示された後、「dJR531」と表示されます。登録をやり直したり解除するときは「オールリセット」する必要があります。「リセット（初期化）」(P.9)をご覧ください。

3-2. 通話操作

必ずイヤホンマイクやヘッドセットが必要です。スピーカーマイクはハウリングするため使えません。全ての親機・子機で前述③の登録完了後、以下の操作を行ってください。

手順

① 親機、子機ともに電源を入れます。子機が登録された親機を探します。親機を検知すると、「ピ」と鳴り、LED が青色点灯します。

② 親機と接続が完了すると、子機の LED が緑色点灯に変わります。子機の LED が緑色点灯し、ディスプレイに「 図 」と表示されると、受信ができます。自動で接続できないときはセットモード 2 の自動接続「AtCnCt」の設定値が「on」になっているか確認してください。
「AtCnCt」の設定値が「oFF」の場合、「PTT」キーを押すと接続されます。

③ 親機との接続が完了したら親機、子機関係なく、「PTT」キーを押すと LED が黄色点灯し、ディスプレイに「 送 」が表示され、同時通話できます。
通話できるエリアは親機を中心とした円周で、河川敷のような障害物の無い平地で 300m、市街地の現場では 100m 程度です。親機から離れると通話が途切れますが、近づけば自動復帰します。

④ 通話から離れるときは「PTT」キーを長押しします。ディスプレイの「 送 」が消え、送信が止まります。親機が動作中であれば、再度「PTT」キーを押すと通話に戻れます。親機が「PTT」キーをオフにしていても子機は通話を続けることができます。

⑤ 子機が通話を終わるには電源を切ります。親機が電源を切ると全体の通話ができなくなります。親機の電源を入れなおすと自動で子機は復帰しますが、親機は全体の通話が終わるまで電源を切らないことをおすすめします。電源を切ると親機、子機ともに「PTT」キーは自動でオフになります。新しく通話するときはこの項の①の手順から操作を始めます。なお、登録操作は不要です。

注意
- トンネルや地下通路のような狭い反響空間ではハウリングが起きたり、電波伝搬上の理由で近距離でも通話できないことがあります。
- 複数の通話グループでお使いになるときは、親子の初期登録操作はグループごとに行ってください。電波の届くところで同時に操作するとお互いに間違った登録をすることになり、オールリセットして初めから全てやり直しになります。
- デジタルコードレス電話と同じで、通話内容を他人に聞かれる心配はありませんが、初期登録時に他人が子機登録をすると、通話を聞かれてしまいます。
本製品は親機が子機を8台まで初期登録できる仕様ですが、仮に6台しか登録できないような現象が生じた場合、少なくとも誰かが2台以上、誤登録しています。本機は親機を含めて「何台登録されたか」を表示する機能はありません。

注意 ●子機を親機に登録が完了した後、親機のみを登録モード（3-1の手順①と②を行った状態）にして子機の電源を入れると、子機は親機に接続された状態で起動しますが、通話はできません。親機が登録モードのときは通話することができませんのでご注意ください。

4. Bluetooth 機能

本機の Bluetooth 機能に対応するアクセサリーを使って通話ができます。
ペアリングとはイヤホンマイクなどの Bluetooth 対応アクセサリー（以下、アクセサリー）と本機をお互いに登録し、接続する操作です。

●1 台の無線機に最大 8 台まで異なるアクセサリーを登録しておくことができます。8 台を超えるとペアリング情報が古いものから自動的に削除されます。
●後述のセットモード 15 の「bLtvoL」を「voL」に設定するとアクセサリーの音量は本機の音量ツマミでも調整できるようになります。
●Bluetooth 方式と有線式オプション（イヤホンマイクなど）を併用すると、両方から音声がでます。どちらかの音声を消す設定はありません。
●弊社純正品以外のイヤホンマイクの動作確認や保証はできません。

4-1. 本機をペアリングモードにする

① 「SET」キーを押し、セットモードに入ります。
② 「SET」キーを押すと次項目に、「FUNC」キーを押すと前項目に移ります。
③ セットモード 14 の「bLt」 の項目を表示させ、「▲」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。待受画面に「 ⎍ 」アイコンが点滅し、LED が赤緑交互点灯します。
すでに、ペアリング情報がある場合は LED が赤緑交互点灯しません。
※２台目以降 ペアリングする場合、④をお読みください。
④ 上記③の後に一度電源を切り、LED が赤緑交互点灯するまで「▼」キーと「SET」キーを同時に押し続けながら電源を入れます。

4-2. アクセサリーをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。
① LED が橙色に点灯後、緑点滅するまで「電源」キーを長押しします。
② 「ペアリング中です」と音声が聞こえたら「電源」キーを放します。
※弊社製のアクセサリーを初めてご使用になるときは電源を入れるだけで、ペアリングモードになります。また、ペアリングできる無線機が見つからない状態が５分つづくと、自動的にアクセサリーの電源が切れます。

4-3. 本機とアクセサリーをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリーが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら「 ⎍ 」アイコンが点滅から点灯に変わります。

注意 ●セットモード15 の「bLtvoL」を「voL」に設定すると、アクセサリーの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できるようになります。適切な音量に合わせてください。アクセサリー側で音量を極端に小さくしている場合、本機の電源/音量ツマミでは適切な音量に調整できなくなりますので、ご注意ください。
●セットモード15 の「bLtvoL」の設定値が「voL」の時に本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリー側で適切に音量を調整できなくなるためご注意ください。
●受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のビープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。
●一度ペアリングしたアクセサリーとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。
●複数台同時接続はできません。

5. 減電池お知らせ

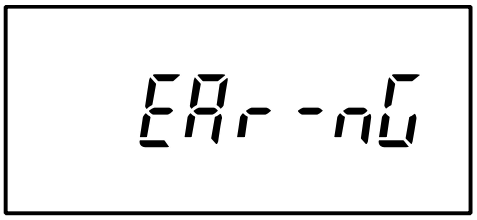
電池の電圧が低下するとディスプレイに電池アイコン「 ▭ 」が点灯します。さらに低下すると電池アイコンが点滅します。
本機の電源を切りバッテリーを充電するか、新しい電池に交換してください。

注意
- 親機と子機が接続している状態で、親機が電池切れにより、電源が切れた場合、子機の接続が維持されることがあります。このとき、子機同士の通話はできません。親機のバッテリーを充電するか、新しい電池に交換してください。

参考
「電源が入らない」、「ディスプレイ表示が消える」、「ハウリング」、「コールバック音声にノイズ音が聞こえる」、「操作中や通話中に電源が切れる」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。バッテリーを充電するか、新しい電池に交換してください。

6. イヤホン断線検知機能

電源を入れた直後に LED が赤緑交互点灯し、ディスプレイに「EAr-nG」と表示されたらイヤホン断線検知の異常をお知らせしています。プラグが緩んでいないか接続状態を確認し、直らないときは新しいものにお取替えください。



7. リセット（初期化）

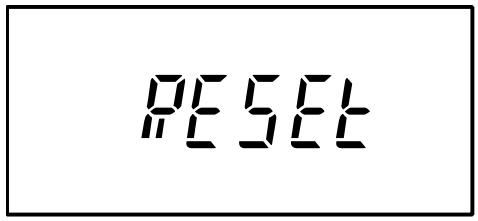
■ 通常リセット

電源を切り、「FUNC」キー押したまま電源を入れ、表示が全点灯したら指を離すと各種機能の設定を初期値に戻せます。親機と子機の登録情報とペアリング情報は保持します。

■ オールリセット

※本機能は管理者用です。使用者が勝手に行うと通信できなくなります。

電源を切り、「▼」キー、「▲」キー、「FUNC」キーを同時に押したまま電源を入れ、表示が全点灯したら指を離します。
その後、「RESEt」と表示され、LED が赤黄交互点灯します。
最後に「dJR531」と表示されると、親機と子機の登録情報、ペアリング情報まで含めて工場出荷状態にリセットされます。



8. セットモード

本機をもっと使いやすくするため、各種機能の動作をカスタマイズできます。

8-1. セットモード一覧

	機能	表示	初期値	設定値
1	親機-子機間登録	REGiSt	on	onのみ
2	自動接続（子機のみ）	AtCnCt	on	on/oFF
3	PTTホールド	PttHLd	on	on/At/oFF
4	オートパワーオフ	APo	oFF	30～120/oFF
5	ランプ（ディスプレイ照明）	LAmP	5	on/5/oFF
6	LED	LEd	on	on/oFF
7	BEEP	Sd-voL	3	1～5
8	操作音	Sound	bP	bP/Gdc/ALL/oFF
9	コールバック	CALLb	Lo	Lo/Hi
10	キーロック時間	Loc	2	1～3
11	電池電圧表示	O.OO	-	-
12	イヤホン断線検知	EAr-C	on	on/oFF
13	ノイズキャンセラー	noiSE	oFF	on/oFF
14	Bluetooth	bLt	oFF	on/oFF
15	Bluetooth機器音量	bLtvoL	16	voL/0～31
16	マイク音量(マイクゲイン)	m-GAin	5	1～7
17	減電池アラーム	bAtt-C	oFF	5～60/oFF
18	本体PTT/マイク設定	inSPtt	oFF	out/ALL/oFF
19	メモ番号割当	numbEr	非表示	非表示/1～9

8-2. 設定方法

① 本機の電源を入れた後、「SET」キーを押すとセットモードに入ります。

② 「SET」キーもしくは「FUNC」キーを押し、セットモードの項目を変更します。「SET」キーを押すと昇順（1→19）に、「FUNC」キーを押すと降順（19→1）に項目が切り替わります。場合は設定値を変更したい場合、▽/△キーで設定値を変更します。設定値を確定する場合は「PTT」キーを押します。

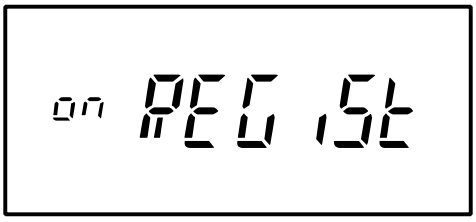
③ セットモードから出て、設定変更された状態で使用できます。

参考 本機が送信中でもセットモードに入って各種設定変更することができます。

8-3. 設定項目

1. 親機-子機間登録

設定値：on のみ（初期値：on）



「PTT」キーを長押しして親機-子機間登録を行います。

2. 自動接続(子機のみ)

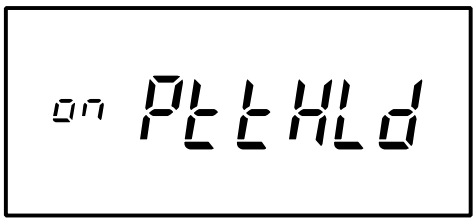
設定値：on/oFF（初期値：on）



登録後、通話に自動接続する機能です。
通常はオンのまま使用してください。
オフの場合は「PTT」キーを押すことで親機との接続ができます。

3. PTT ホールド

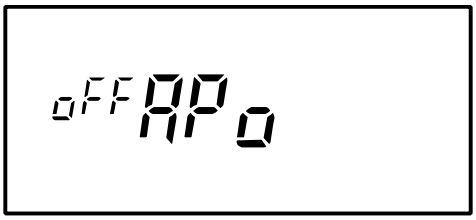
設定値：on/At/oFF（初期値：on）



「PTT」キーを一度押すと送信を継続する機能です。
on 時：「PTT」キーを一度押すと送信を継続し、送信が継続している状態で長押しすると、待受けまたは、受信状態になります。
At 時：「PTT」キーを 1 度押すと、常に送信が継続します。
電源を切って、再度電源を入れると送信状態で起動します。
送信を止めるには、設定を At 以外に変更した後、
「PTT」キーを長押ししてください。

4. オートパワーオフ

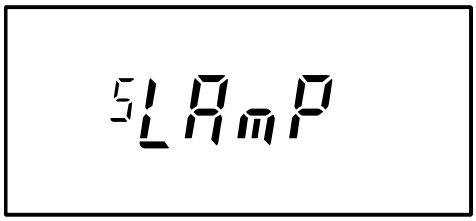
設定値： 30/60/90/120（分）/oFF（初期値：oFF）



電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定時間続くと、自動的に電源が切れます。
通常はオフのまま使用してください。

5. ランプ（ディスプレイ照明）

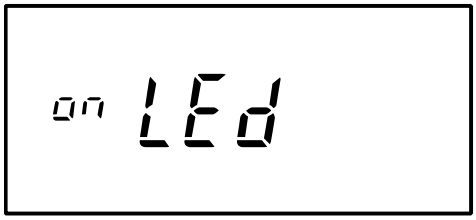
設定値：on/5/oFF（初期値：5）



ディスプレイ、キーバックライトの動作を設定します。
初期設定では約 5 秒間無操作で消灯します。
on に設定すると、常時点灯しますが電池の消耗がとても早くなります。

6. LED

設定値：on/oFF（初期値：on）

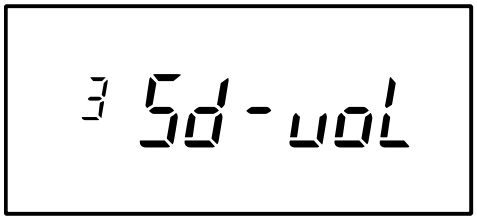


各動作時に LED を点灯させるかどうかを設定できます。

注意
- オフにした場合、LEDが点灯しません。受信待受け、受信、送信、減電池お知らせの確認ができなくなりますので、ご注意ください。
- オフの場合でも、断線検知時、Bluetoothのペアリング中はLEDが点灯します。
- オフにした場合、LEDが点灯しないため、電源を切り忘れるおそれがあります。電源を切り忘れて充電すると、充電が正常にできない原因にもなりますのでご注意ください。

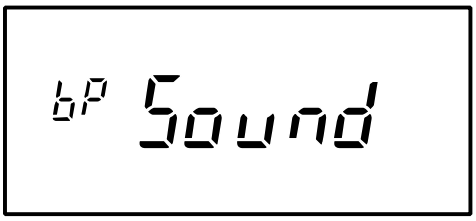
7. BEEP
設定値：1/2/3/4/5（初期値：3）

本機の通話の音量と操作ビープ音量は連動しません。
音量は 5 段階で設定できます。



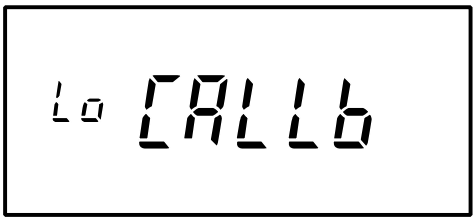
8. 操作音量
設定値：bP/Gdc/ALL/oFF（初期値：bP）

ｂP は操作ビープ音のみ、Gdc は音声ガイド、
ALL はビープと音声ガイドの両方が聞こえます。
oFF は音が鳴らないため特殊な用途向けです。



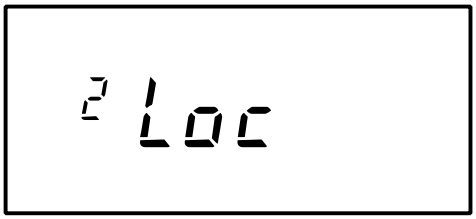
9. コールバック
設定値：Lo/Hi（初期値：Lo）

送信中にイヤホンから自分の送信音声が聞こえてくる機能です。正しく送信できているか確認しながら通話できます。
Lo に設定するとコールバックの音量は小さく、
Hi に設定するとコールバックの音量は大きくなります。



10. キーロック時間
設定値：1/2/3 秒（初期値：2 秒）

待受けからキーロックする時間を調整できます。
通常は 2 秒のままお使いください。

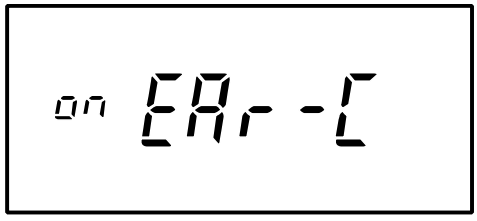


11. 電池電圧表示
電池の電圧を表示します。表示は目安で個体のばらつきもあります。電池が切れるときの数値を覚えておくと、より精度の高い減電池表示として使えます。右記は例です。



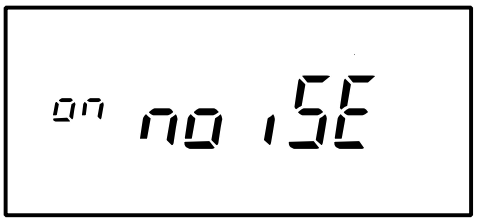
12. イヤホン断線検知
設定値：on/oFF（初期値：on）

外部機器への接続などで検知機能が障害になるときだけオフにします。イヤホンやマイクアクセサリーをお使いの時はこの設定を変える必要はありません。



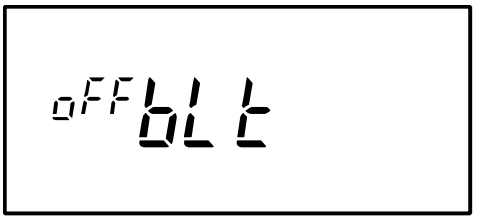
13. ノイズキャンセラー
設定値：on/oFF（初期値：on）

マイクに向かって話した音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。オンにすると電池の消耗が早くなります。他の機能との組み合わせによっては通話時間が1～2 時間短くなることがあります。



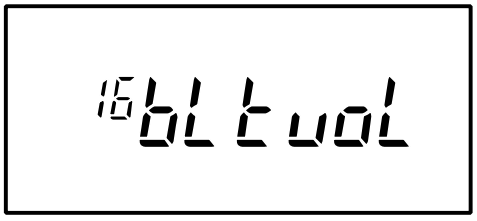
14. Bluetooth
設定値：on/oFF（初期値：oFF）

弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーと接続できます。
オンにすると電池の消耗が早くなります。他の機能との組み合わせによっては通話時間が 1～ 2 時間短くなることがあります。



15. Bluetooth 機器音量
設定値：voL/0～31（初期値：16）

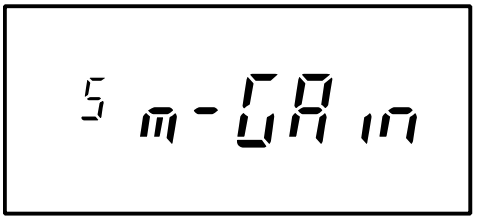
弊社製 Bluetooth 対応アクセサリーの音量を変更できます。
voL に設定すると本機の音量ツマミに連動して変動します。



注意
- ●voLに設定すると、アクセサリーの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できるようになります。適切な音量に合わせてください。アクセサリー側で音量を極端に小さくしている場合、本機の電源/音量ツマミでは適切な音量に調整できなくなりますので、ご注意ください。
- ●設定値が「voL」の時に、本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリー側で適切に音量を調整できなくなるためご注意ください。

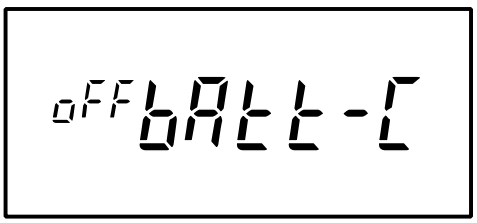
16. マイク音量
設定値：1～7（初期値：5）

マイクに向かって話す音が小さい、または音が歪む場合に調整できるようになっています。
設定値が大きいほど感度が高くなり、通話相手で聞こえる受信音声が大きくなります。

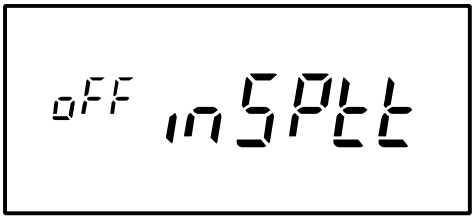


17. 減電池アラーム
設定値：5/10/20/30/40/50/60(秒)/oFF（初期値：oFF）

減電池時、電池アイコンが点滅します。加えてこの設定をすると、電池を充電・交換するまで設定した間隔でビープ音を鳴らして注意を促します。
セットモード 8 を「Gdc」に設定している場合は「充電してください」とガイダンスが鳴ります。
セットモード 8 を「ALL」に設定している場合はビープ音と「充電してください」とガイダンスが鳴ります。



18. 本体 PTT/マイク設定
設定値：out/ALL/oFF（初期値：oFF）

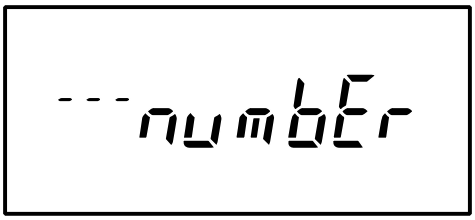


有線オプション接続時に本体 PTT と本体マイクの有効／無効を選べます。使用するオプションに合わせて設定してください。

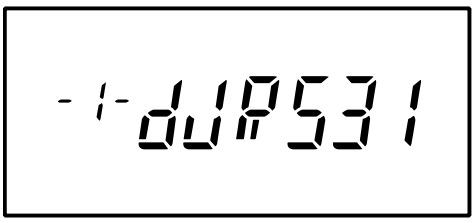
oFF ： 本体 PTT 無効 / マイク 無効　（オプション … PTT 有効 / マイク 有効）
out ： 本体 PTT 有効 / マイク 無効　（オプション … PTT 有効 / マイク 有効）
ALL ： 本体 PTT 有効 / マイク 有効　（オプション … PTT 有効 / マイク 有効）

参考
●有線式オプションを接続していない場合は、本体 PTT と本体マイクが有効となります。
●Bluetoothアクセサリー使用時に有線式オプションを接続していない場合では、本体 PTT 有効 / 本体マイクが無効となります。

19. メモ番号割当
設定値：非表示(- - -)/1～9（初期値：非表示）



設定終了後、運用画面で 1 から9の任意の番号を-1- のように表示できます。
複数のグループでお使いになるときは第 1 グループは 1、第2グループは 2、もしくは一つのグループでも 2 は○さん、3 は X さん、のように決めてメモ番号を表示させておくと個体の識別が容易になります。



注意
メモ番号は単純に数字を表示するだけで、通信に関係する機能ではありません。グループや使用者が何度も変わるようなときはかえって混乱するかもしれません。用途に合わせてお使いください。

9. 故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。
イヤホン類や電池などが原因の不具合もありますので、必ずアクセサリーも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。
また電池の残りが少ないとまれに誤作動することがあります。新しい電池に交換するか充電してください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池を取付けていない。	バッテリーまたは乾電池を正しく取付けてください。
	電池が消耗している。	バッテリーを充電するか新しい電池に交換してください。
音が出ない。	オプション類が接続されていない。	オプション類を正しく接続してください。
受信できない。	相手と距離が離れている。	通信距離を目安に近づいてください。
通話できない。	親機の電源が入っていない。	親機の電源を入れてください。
	子機を親機に登録していない。	子機を親機に登録してください。
充電できない。	端子が汚れている。	端子の汚れをふき取ってください。
	バッテリーが劣化している。	新しいバッテリーに交換してください。

10. オプション一覧

EBP-114	リチウムイオンバッテリー
EDH-46	乾電池ケース（単三形アルカリ 3 本用）
EDC-331A	シングル充電器（AC アダプター付属）
EDC-331R	シングル連結充電スタンド
EDC-287	AC アダプター（シングル保守用）
EDC-162	AC アダプター（連結充電用）
EME-58	ストレートコードイヤホン　耳かけ型
EME-60	ツイストコードイヤホン　カナル型
EME-32A	イヤホンマイク　カナル型
EME-48A	イヤホンマイク　耳かけ型
EME-62A	咽喉イヤホンマイク　カナル型
EME-73A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-80BMA	Bluetooth イヤホンマイク
EME-914MA	防水ジャック式　IPX4 防沫　業務用耳かけ型イヤホンマイク
EME-914CA	防水ジャック式　IPX4 防沫　業務用カナル型イヤホンマイク
EHC-40	ハードケース
EHC-41	ハードケース

11. 生産終了品に対する保守期限

生産終了後も 5 年間は補修用部品を在庫しています。
不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

12. 定格

送受信周波数	1,885.248～1,904.256MHz
電波形式	F1D, F1E, G1D, G1E
送信出力	0.1W
受信感度	−93dBm（BER1%）
音声出力	80mW 以上（ 8 Ω負荷）
通信方式	複信
定格電圧	リチウムイオンバッテリー　3.6V/3120mAh（別売 EBP-114） 単三形アルカリ乾電池　　4.5V　　（別売 EDH-46）
消費電流	約 150mA 以下
動作温度範囲	−10℃～+50℃（充電：＋10℃～＋40℃）
寸法	幅 56.5mm×高さ 187mm×奥行 31.0mm(突起物含む)
質量	約 184g（EBP-114 装着時） 約 220g（EDH-46 装着時、単三形アルカリ乾電池含む）
使用時間の目安	リチウムイオンバッテリー：約 19 時間
	単三形アルカリ乾電池　　：約 15 時間

13. メンテナンス

本体とイヤホンはデジタル家電清掃用ブラシなどでほこりを落とし、清潔な乾いた布で乾拭きしてください。特にイヤホンケーブルは汗などでぬれたら乾拭きしてください。水分侵入は基板を腐食して修理できなくなります。汚れたスポンジやゴムは衛生面からも定期的に新品に交換してください。

■仕様、定格は予告なく変更する場合があります。

■本書の説明用イラストは実物と字体や形状が異なったり、一部の表示を省略したりしている場合があります。

■本書の内容を無断転載することは禁止されています。

Radio Communication Solutions

株式会社ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 東 京 本 社 03-5715-2351
□ 関 西 支 店 06-6583-7700
□ 名古屋営業所 052-908-1440
□ 九 州 営 業 所 092-432-9077
□ 札 幌 営 業 所 011-733-6120
□ 仙 台 営 業 所 022-290-9381

◀各住所は
こちらから

https://www.jenix.co.jp/

アルインコ株式会社 電子事業部

大阪本社 / 電子サービスセンター：
〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 4-4-9 淀屋橋ダイビル 13F / TEL 06-7636-2222

無線・電源機器のアフターサービスに関する情報はアルインコ電子事業部HP　https://alinco-denshi.com/
「サポート情報」をご覧ください。

Copyright Alinco,Inc.

PW0051
FNFJ-NJ